資料３

環境の学校の活動について

目的

2020（令和２）年11月に開設予定の武蔵野市エコプラザ（仮称）（以下、エコプラザと記載。）では、日々の暮らしの中に環境問題があることを知り、その気づきを環境に配慮した行動に結びつけ、一人ひとりの行動をつなぎ地域ぐるみの取り組みへと広げ、さらに市域全域へと拡大し、より良いまちづくりを目指している。

エコプラザを開設するにあたり、施設のコンセプトの基礎となる考え方の一つである、市民参加・市民提案を実現し、地域とまちに根差した施設運営を行うため、環境啓発の担い手・主体として、継続的に活躍してもらえる人を支援する事業として実施している。全５回の連続講座は12月に終了し、受講者による講座の企画や研究活動などが新たに始まっている。

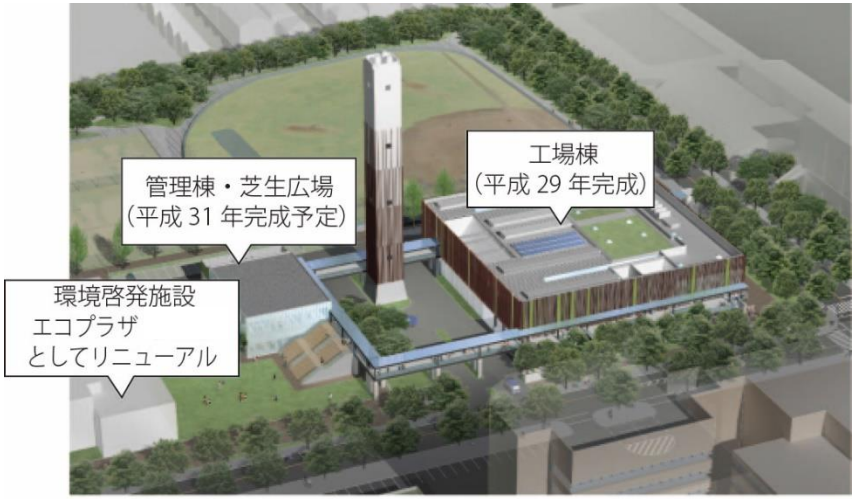
- 一般　31名
- 学生　21名

第１回

- 一般：８月24日（土）
  エコプラザの概要や、地球温暖化の現状、ごみのゆくえについて解説をした後に、エコプラザとクリーンセンターを見学した。

・学生：８月26日（月）
アートディレクター森本千絵氏のファシリテートによるエコプラザの正式な名称を検討した。

一般資料　～エコプラザ施設の概要～



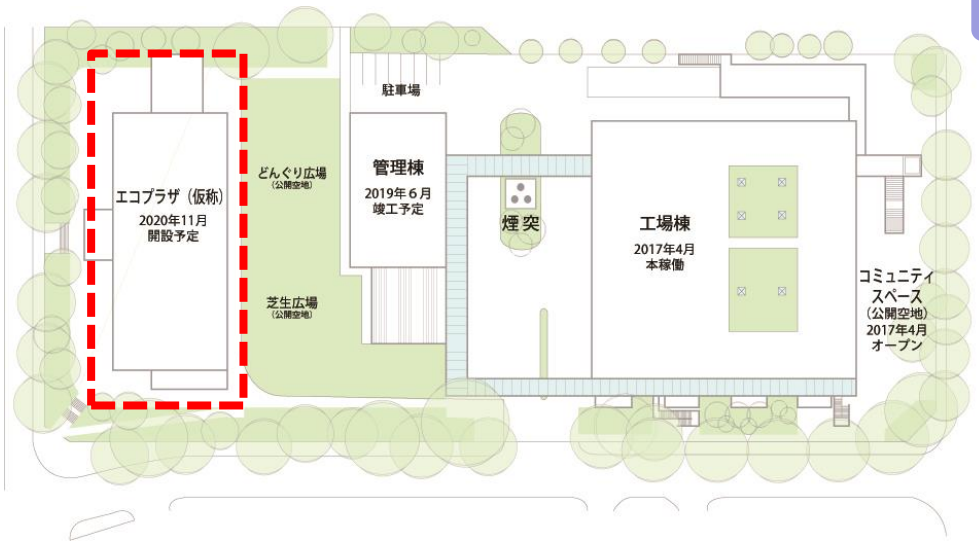
◎旧クリーンセンターの事務所棟とプラットホームを改修して使用
・市民参加によるごみ処理の歴史を次代に残す
・建物を壊さないでガレキを出さない環境面に配慮した施設

旧事務所棟　２階建て

- アーカイブ（記録）スペース
- 市環境啓発部門
- コミュニティカフェ
- 情報コーナー
- スタディルーム

旧プラットホーム（大空間）

奥き54m、幅15m、高さ8m
- フリーゾーン
- ものづくり工房ゾーン



エネルギースペック（性能）

- クリーンセンターごみ発電による電力供給
- 太陽光発電システム
- LED照明
- 蓄電池
- 省エネ空調

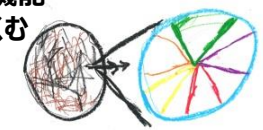
ネーミングのアイデア

学生成果物　～エコプラザ（仮称）はみんなにとってどんな惑星？～

1 木のように育ってほしい

3 人とつながる

6 エコプラザの機能
支える、はぐくむ



9 新旧の惑星の衝突に注目！

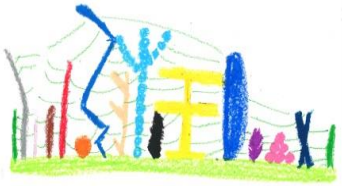
4 可能性の塊である若い人を暖かく見守る

7 誰でも来られて、みんなを
支える、旅立っていく

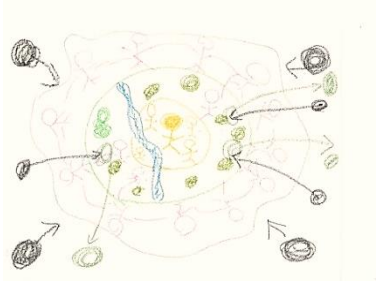
2 人の交流が生まれる、暖かさがある

10 武蔵野の大地に住む
人々の生活をつなげる

8 人と人がふれあえる明るい場所



5 ごみが入ってきても緑で還元



第２回

まち歩きワークショップ～武蔵野の水と緑を知ろう～

・一般：９月28日（土）
井の頭公園コース、千川上水コースに分かれてまち歩きを行い、各自が「誰に」「何を」「どうやって」伝えるかをポイントに環境宣言した。

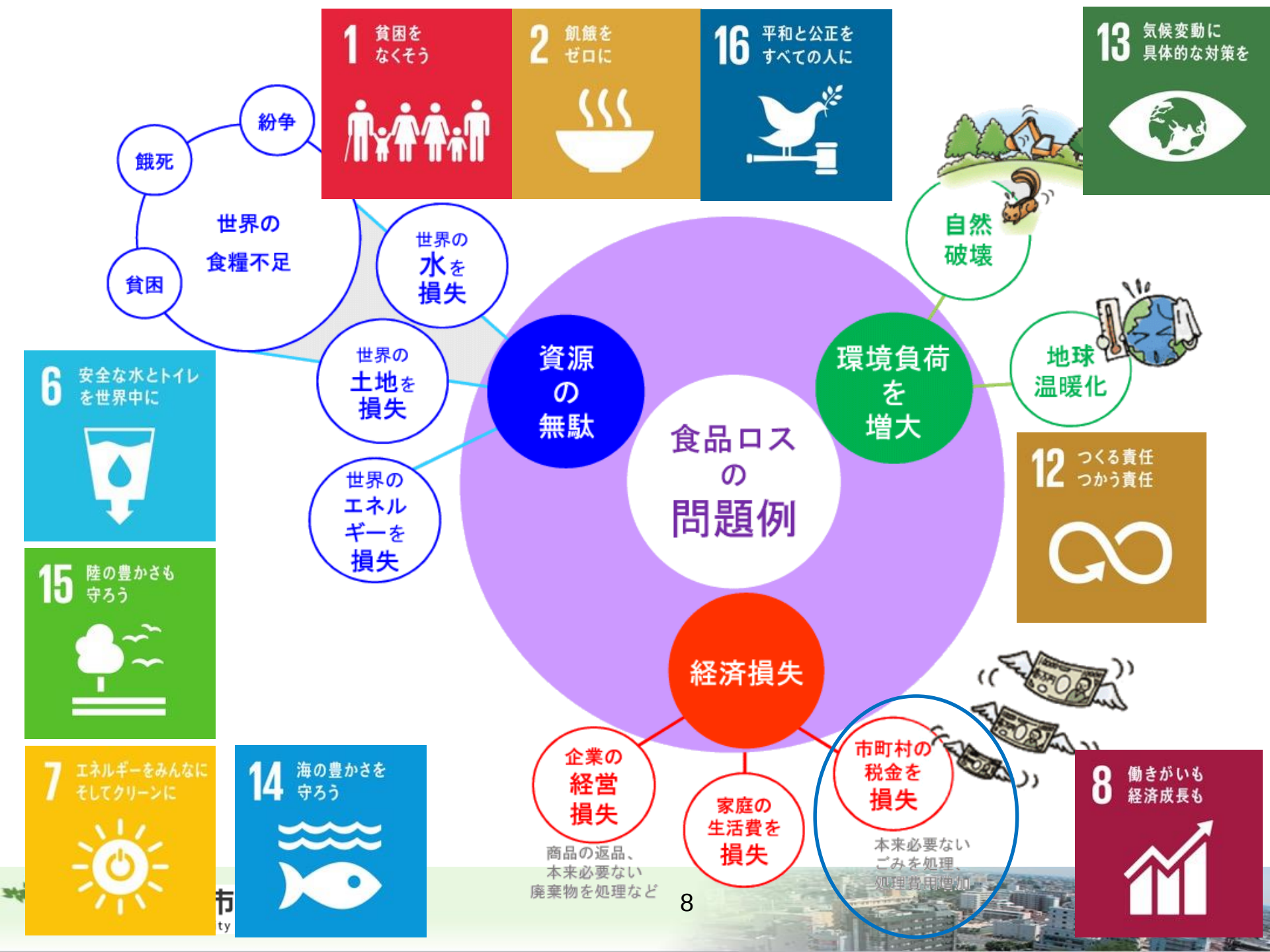
・学生：９月16日（月・祝）
井の頭公園コース、千川上水コースに分かれてまち歩きを行い、自分たちのコースのおすすめポイントを発表し、伝える楽しさを実感した。

井の頭公園コース
「環境の学校」第２回　まち歩きワークショップ
～武蔵野の水と緑を知ろう～
【一般コース】
出発の前に…
● 武蔵野市の「住みやすさ」ってなんだろう？
● ○○川と○○上水、ちがいはなんだろう？
● 武蔵野市の「おススメスポット」を見つけよう！
…井の頭・玉川上水コース
…仙川・千川上水コース
…バス移動区間（●乗降場所）
0
1km
武蔵野市
千川上水
玉川上水
境浄水場
井の頭池（七井の池）
善福寺池
①下水吐口
②神田上水橋
③武蔵野市下水道マンホール
④水門橋、神田川源流の碑
⑤かいぼり説明板
⑥御茶の水
北町すりばち凹地
2019.9.16 実施　武蔵野市環境部環境政策課
地図作成：なじみ研究会＋やとじぃ平田英二

第３回
武蔵野市フードフェスタ
～食品ロスとフードドライブについて知ろう～

- 一般：10月26日（土）
「環境問題に係る食品ロスの実態と削減に向けた手法」とし、国内外のごみ問題、食品廃棄物、貧困、フードバンク、フードドライブについて学び、考えた。

- 学生：10月６日（日）
「環境問題における食ロス削減の大切さを学び考える」とし、武蔵野市のごみの現状、国内の食品ロスの現状・問題について学び、考えた。


1 貧困をなくそう
2 飢餓をゼロに
16 平和と公正をすべての人に
13 気候変動に具体的な対策を
紛争
餓死
貧困
世界の食糧不足
世界の水を損失
世界の土地を損失
世界のエネルギーを損失
資源の無駄
自然破壊
地球温暖化
環境負荷を増大
食品ロスの問題例
6 安全な水とトイレを世界中に
12 つくる責任つかう責任
15 陸の豊かさも守ろう
経済損失
企業の経営損失
商品の返品、本来必要ない廃棄物を処理など
家庭の生活費を損失
市町村の税金を損失
本来必要ないごみを処理、処理費用増加
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
14 海の豊かさを守ろう
8 働きがいも経済成長も

第４回
見て感じて行動へ
～身近なモノから世界の環境問題へ～

・一般：11月16日（土）
パーム油を題材にして、自分たちの生活と世界の環境問題、社会問題とを関連づけ、国際問題への関心を深めた。

・学生：11月24日（日）
いろいろな世界の食卓の写真から、人の生活や暮らし方を多様な視点で分析し、自分たちの生活と対比して、エネルギー消費の多い生活・少ない生活について考えた。

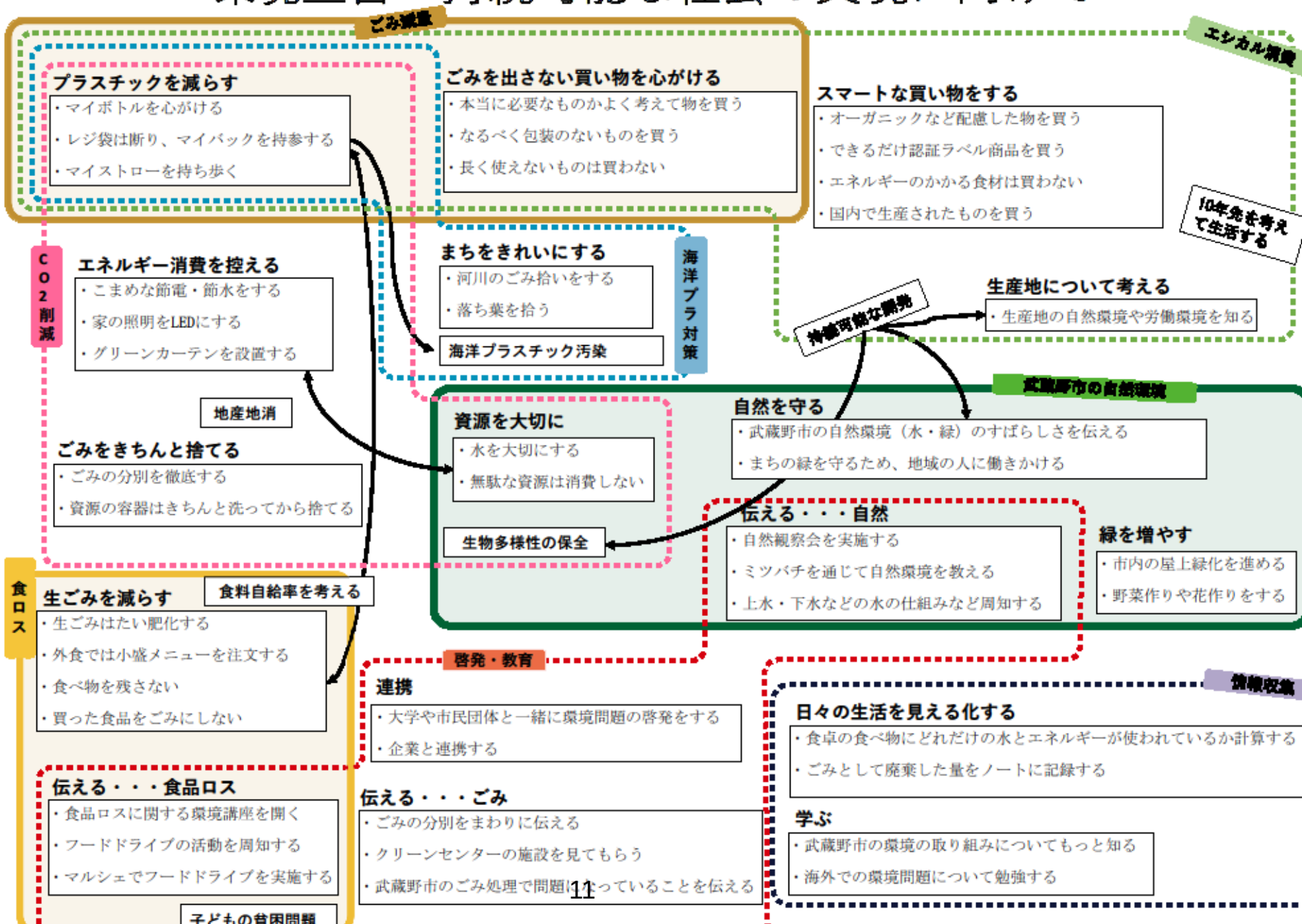
第５回
環境問題を伝えるために～私たちに何ができるか～

・一般：12月7日（土）　　・学生：12月15日（日）

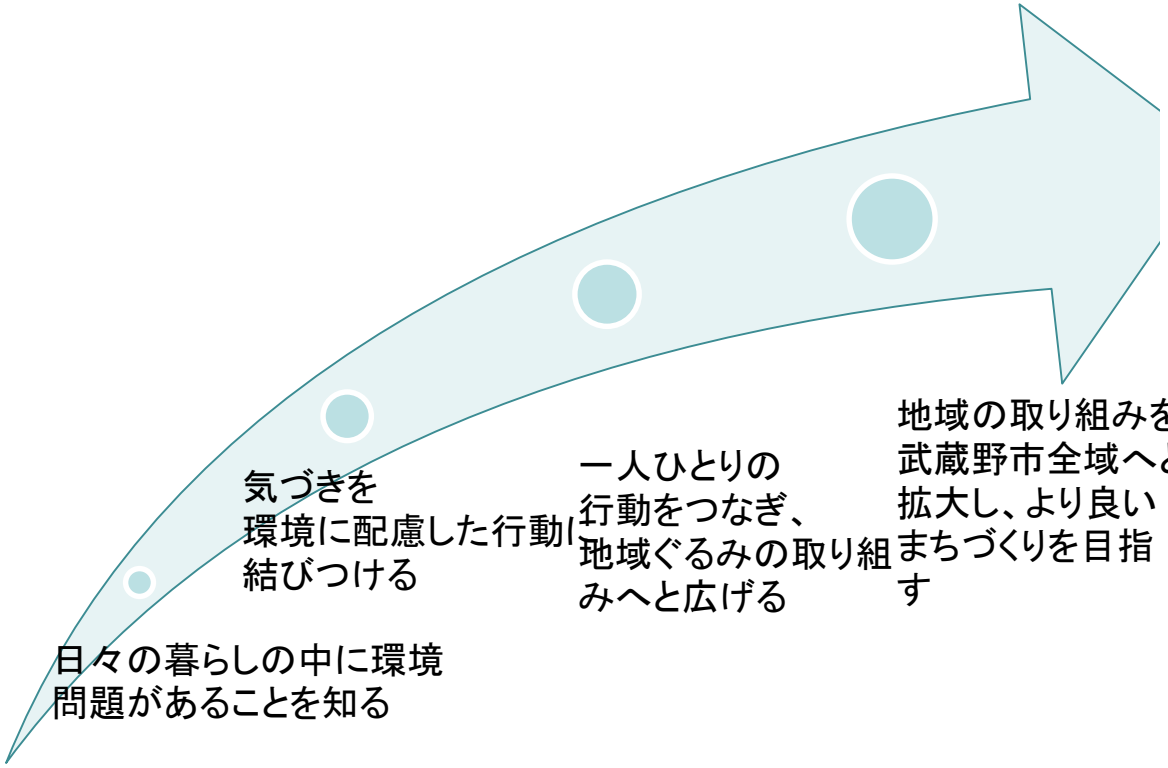
「環境の学校」で学んできたこと全てが繋がっていると認識し、自分たちのライフスタイルを見直すとともに、家族・知人・市民に啓発していく必要を感じ、行動変容を促す仕組みを考えた。

一般では、連続講座終了後も学んだ事を啓発していけるよう、グループ分けをした。

環境宣言×持続可能な社会の実現に向けて



エコプラザ（仮称）が目指すもの



日々の暮らしの中に環境問題があることを知る

気づきを環境に配慮した行動に結びつける

一人ひとりの行動をつなぎ、地域ぐるみの取り組みへと広げる

地域の取り組みを武蔵野市全域へと拡大し、より良いまちづくりを目指す

繋がり

一般コースは、個別にチームを作り、啓発等の事業実施に向けて準備を進めている

①エシカル消費

②ごみ問題

③食品ロス

④自然環境

※学生コースは「環境問題を身近に感じよう」「SDGｓについて知ろう」「広報」のグループに分かれたが、環境事業の際にブース出店し環境クイズラリー等ができるよう検討している。